



上石小だより

～ やさしさ かしこさ たくましさ ～

第 6 号
令和 2 年 1 0 月 1 日
練馬区立上石神井小学校
校長 井口 洋

「通じる心 伝える努力」

校長 井口 洋

台風 1 2 号の影響を受けてか、雨天の日が 9 月末は続きました。子供たちは、外遊びができず休み時間の楽しみが半減しているようです。

年度当初の年間計画では、9 月 2 6 日（土）は、本校の運動会でした。新型コロナウイルス感染症の関係で、学校行事を大幅に削減したことは、6 月の保護者会で御説明したとおりです。上小では、例年 9 月は、6 年生の連合水泳記録会が終わるとすぐに運動会練習が始まっていました。始業前からの応援団の練習での太鼓の響き、児童の大きな掛け声、授業時間には、各学年の表現や団体競技、短距離走の練習と毎日、子供たちが活発に活動していました。

しかし、今年の 9 月は、ゆっくり、しっかり教室での学習が多くなっています。熱中症予防の観点からもありますが、やはり新型コロナウイルスの影響です。このような状況下であっても、私は、子供たちの人間形成にとって、周囲の人間とのよりよい関わりが、大変重要な要素であると考えています。

「以心伝心」（無言のうち心が通じ合う）・「阿吽の呼吸」（全てにおいて心の通じ合う）という言葉があります。言葉の響きからも、二人の間の温かい心の通い合いがあることが分かります。お互いに相手が何を欲しているのかを考え、かゆいところに手が届くように気遣ったり、困っていることを察して手を差し伸べたりするような人間関係を築くことができれば、安心して楽しく生活することができると思います。そして、素直に自己表現をすることもできるに違いありません。

しかし、コロナ禍の中、あわただしく時間が過ぎていく今、気遣うことを他に求めるだけでは、人間関係を良好にすることはできないと思います。自ら理解してもらおう努力をすることが必要ではないでしょうか。自分のことを分かってほしいと思うとき、分かってもらう努力をすること。そして、どのような行動をとれば望ましい関係を築くことができるのかをしっかりと考え、互いに理解し合うことが大切だと考えます。

「通じ合う心」を大切にするとともに、「伝える努力」をしながら、温かい人間関係を築いていける子供たちを育てていきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様、これからも御理解、御協力のほど、よろしくお願ひいたします。

学校生活支援員 3 人目決定

本校の学校生活支援員は 3 名配置との区からの通知でしたが、今まで 1 名の欠員でした。9 月 1 日より、3 名体制となり、新規採用で、支援員が勤務しています。よろしくお願ひします。

3 名の配置は、当面、右記を中心とします。

- 支援員（3 年 1 組）
- 支援員（3 年 3 組）
- 支援員（少人数算数及び 3 年 3 組）

1 0 月行事予定

- 1（木）都民の日
（今年度は休業日ではありません）
- 2（金）交通安全教室（1 年）
- 5（月）委員会
- 7（水）内科検診（4.5.6 年）
- 8（木）避難訓練 起震車体験（4 年）
- 10（土）学校公開【木曜時間割 4 時間】
防災教室（6 年）
ふれあい環境学習（4 年）
- 12（月）クラブ（4.6 年）
- 13（火）歯科検診（1.2 年）
- 15（木）眼科検診（1.2.3 年）



- 22（木）眼科検診（4.5.6 年）
- 23（金）ミニコンサート鑑賞（1.2.3 年）
- 24（土）土曜授業（学校公開なし）
- 30（金）自動車安全教室（4 年）

1 1 月行事予定（前半）

- 1（日）開校記念日
- 4（水）土曜時程 4 時間授業 12:45 下校
就学時健診
- 9（月）委員会
- 14（土）学校公開【金曜時間割 4 時間】
薬物乱用防止教室（6 年）

1年生、成長しています

新しい生活様式を意識して、友達と元気に外遊びをしたり教室で読書に励んだり、子供たちは楽しく学校生活を送っています。

ひらがな、カタカナの学習に始まり、現在は新出漢字の学習に入り、字面を整えながらきれいに書く練習をしています。

生活科では、学区内の上石神井児童館へ出掛けました。小学生だけでなく、中高学生や乳幼児も利用できることに、子供たちはびっくりしていました。

10月には、学年合同体育や、図画工作で絵の具を使った作品作り、秋の公園探検などを実施してまいります。子供たちの更なる活躍を期待しています。

1年担任一同

上小ホームページについて

本校のホームページを御覧になったことはありますか？すでにブックマークに入れている御家庭も多いかと思いますが、もしまだ御覧いただいたことがないようでしたら、『上石神井小学校』と検索していただくとすぐに出てきます。

ホームページでは、お知らせや緊急連絡だけでなく、学校日記として日々の子供たちの様子や、毎日の給食が写真付きで載っています。

あわせて、学校で配布した文書なども載っていますので、積極的に御活用いただければと思います。



事務室から

校内を歩いていると「何の先生ですか。」「誰のお母さん？」「(どこかで?) なんか見たことある人！」などと話しかけられます。事務員は普段、児童の皆さんと直接関わることが少ないのでどこの誰だろうと思われているようです。

事務室には主に事務員2名、栄養士1名がいます。事務員の仕事は、児童の皆さんがよく使っているもの...例えばつくえやいす、学習道具、掃除するためのほうきやちりとり、休み時間に使うボールなどを管理しています。この学校だよりの紙やそれを届けるために印刷する機械もそうです。

「へえ～そうなんだ～」って思ってくれましたか。児童の皆さんが安心安全に通える学校づくりを目指して“どこかでなんか見たことある人たち”が働いています。

さて、事務室は学校のどこにあるでしょうか。



10月の生活目標 進んで仕事をしよう

御家庭でも学校でも、快適に楽しく生活するためにはたくさんの仕事があります。例えば、お家では洗濯や食事の支度、買い物、掃除など、家族のためにある仕事を挙げたらきりがありません。その中で、子供たちが担当しているものもあるでしょう。上ばきを自分で洗っている子はたくさんいるでしょうし、ごみ出しやお風呂掃除などをしている子もいることでしょう。学校生活の中にも仕事があります。例えば教室では、黒板係や配り係、体育係など、それぞれが頑張ってクラスのために仕事をしています。給食当番や掃除当番の仕事もあります。

そして、5・6年生は9月から始まった委員会活動にも張り切って取り組んでいます。仕事をすると、知らず知らずのうちに人と関わったり、使う人のことを思い浮かべたり、作業の段取りを考えたりと、机での学習では付けられない力がつくものです。周りの様子にアンテナも張れるようになります。御家庭でも学校でも「ありがとう」「助かったよ」「どういたしまして」そんな言葉が行き交うと素敵だなと思います。